

有事に狙われないか



陸上自衛隊大分分屯地（右側）。国道10号を挟んで左側には事業所やJR豊肥線、大分大などがある＝15日、大分市

住宅地に隣接、住民ら不安

大分市鶴野の陸上自衛隊大分分屯地に大型弾薬庫を新設する政府方針が15日、明らかになった。防衛力の強化に向け、反撃能力（敵基地攻撃能力）を持つ長射程ミサイルの保管が見込まれる。分屯地は住宅密集地と隣接。「なぜ、こんな場所に」「地域の安全を考えて」。周辺住民は不安や戸惑いの声を上げた。

大分分屯地に大型弾薬庫

「正直、気持ちの良いものはない」と打ち明ける。一會長の広瀬修二さん（75）。

付近は住宅やアパートが並ぶ。「ミサイルがあると有事に狙われる恐れがある。子どもからお年寄りまで幅広い年代が住んでおり、配備するのなら住民の安全を最優先に、丁寧な

説明をしてほしい」と訴える。

同市巨野原の無職男性（81）も「近くに住む者として複雑な心境だ」と吐露する。「なんで大分なのか」というのが本当の気持ち」と続けた。

国道10号を挟んだ丘陵地には大分大巨野原キャンパスがある。理工学部3年の男子学生（21）は「弾薬を保

管しているとは知らず、高い山とばかり思っていた。ミサイルと聞き、心配する人は多いだろうが、日本を守るには必要なのかもしれない」と一定の理解を示す。

敷地の北西側にある鶴野小に低学年の娘を迎えに来た女性（36）は「弾薬庫を不安に思ったこともあったが、今はあまり意識していない。軍費があるなら、もっと子育て支援を手厚くしてほしい」と話した。（大塩信、大海すみれ）

